

キンダーブック1 9月号

表紙の
絵から

立派なたてがみのお父さんライオンが子ライオンといっしょにサバンナを走っています。ライオンのたてがみにもぐりこんで、広い草原を駆けまわるのは気持ちよさそうですね。裏表紙には、ゾウやシマウマ、カメレオンなどさまざまな動物がいます。好きな動物について話してもよいですね。



★ きょうは ひなんくんれん ★

【ねらい】 地震が起きたら、どうすればよいか確認しましょう。



避難訓練の放送が聞こえたときのうさまらくんたちに注目します。「おもちゃで遊んでいるときに地震が起きたらどうする？」などと尋ねてみましょう。

うさまらくんたちの表情や足元に注目し、「真剣な顔をしているね」「上履きのまま外に行くよ」などと避難訓練のようすを確認しましょう。「避難のときはお片づけよりも外に逃げることのほうがだいじだよ」など、おもちゃをそのままにする理由を伝えてもよいですね。



じょうずに避難ができたうさまらくんたちをほめてあげましょう。自分たちの園で避難するときの注意点についても確認しましょう。



★ くもが もくもく ★



【ねらい】 いろいろな形の雲があることを知り、興味を促します。

【つかい方のポイント】 誌面の写真を見ながら、どの雲を見たことがあるか、知っている雲の名前はあるかなど話しましょう。実際に空の雲を観察し、なんの形に似ているか伝え合ったり、オリジナルの名前をつけたりしても楽しそうですね。



★ だいすき! おじいちゃん おばあちゃん ★



【ねらい】 身近な高齢者の暮らしぶりや個性を知り、感謝と親しみの気持ちをもちましょう。

【つかい方のポイント】 9月15日は敬老の日です。お話には、近所の人、趣味を楽しむ人、仕事をしている人など、さまざまな立場の高齢者が登場します。祖父母や身近な高齢者が毎日をどのように過ごしているか興味をもち、交流のきっかけになるとよいですね。

「キンダーブック1」を
保育にご活用ください!

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
 「きょうは ひなんくんれん」	- 避難訓練の必要性を知る。 - 地震の避難のときの注意点を知る。 - 実際に避難訓練を行う。	- 命を守ることが何よりもたいせつであることを伝える。 - 地震などの災害はいつ起こるかわからないこと、実際に起きたときにあわてないために避難訓練が必要なことを伝える。 - 先生の話をよく聞く、先生から離れない、頭を守るなどの、特に重要な約束ことを繰り返し伝えていく。 - 避難訓練の前や後に絵本を読んで、避難訓練の内容をより強く印象づけられるようにする。 - 防災用品や避難経路などを定期的に確認する。	健康 環境 人間関係
 「だいすき! おじいちゃん おばあちゃん」	- おじいさんおばあさんにも子どもの時期や若い時期があったことを知る。 - 自分の祖父母の仕事や趣味などに興味をもつ。 - 祖父母など身近な高齢者と積極的に交流する。	「みんなのおじいちゃん、おばあちゃんはどうな仕事をしているかな?」「得意なことはあるかな?」など、話しやすいように問いかける。 - 昔のおもちゃなどを用意し、「おじいちゃん、おばあちゃんは子どものころ、こういう物で遊んでいたんだって」などと紹介する。 - 高齢の方と話したり昔の遊びをいっしょに体験したりする交流の時間を設ける。	言葉 人間関係